

## 雪谷小学校おやじの会

私がPTA活動に参加させていただいたころはお母様方のお力为中心で、活動内容によっては男手の必要性を感じていました。またお父さんならではの発想の活動の要望も聞かれました。そこで有志を募りほそぼそと始めたのが雪谷小学校おやじの会です。当時は数人でしたが5年目を迎えた今年には30名程の仲間が集まり、特に若手のお父さん達が熱心に活動を支えています。モットーは、堅苦しいことなくまず自分たちが子供と一緒に楽しもうよ、遊ぼうよということです。

そんなモットーの中、主な活動は大田区ガーデンパーティーでの催し物（前はウルトラクイズ）、夏休みに行くTBSのテレビ番組でお馴染みの<SASUKE>、冬休みの餅つき正月遊び大会などが恒例となっております。特に夏休みの<SASUKE>では、小学校の体育館に大掛かりな装置を鉄パイプで作り上げ、2メートルを超す垂直の壁登りや不規則に組まれた高低差のある長いうんていなどもあり、テレビ番組さながらの迫力ある子供たちの戦いがそこにあります。見ている親御さん方もつい大声を出して応援してしまう毎年参加児童が100名を超える人気の活動です。

後片付けも終われば手伝ってくれた仲間達と共に一献を傾け異業種に携わるお父さん達が職場とは違った雰囲気や絆を深めています。

ご興味ある方は是非下記のアドレスまで御連絡下さい。

【おやじの会会長・佐保啓一】k.r.k.soulbrother@aol.jp

（東中・松岡清明）

## 美しい環境づくり 40

### 孫との楽しい散歩道

私には二才の孫が居ります。朝8時40分保育園に送る道すがら楽しい会話が始まります。10分ほどの道のりの中で色々な事を教えてくれます。黄色の花を見ると「咲いた咲いたチューリップの花が」と歌い、庭先に赤い花を見つけては「バラ、バラ」と指差します。また、満月の日には大きなお月様に感動し、通る人達に「お月様まあいる」とはしゃぎ回ります。そんな姿を見て思わず皆で空を見上げ「僕、よく気がついたね。」と頭をなでて通って行きます。そんな時この地域の美しい街並み、住んでいる人達の優しさを感じます。

私は昭和16年生まれで、太平洋戦争の始まった年でした。幼心の記憶の中にB29の爆撃機が空を飛ぶその度に、暗い防空壕の中で恐ろしさに声も出せず震えていた事は、今でも覚えています。戦後の大変な時期から山坂の人生でありましたが、振り返って見ればどんな時でも人と人とが助け合い、知性と優しさを持っていればこんなにも素晴らしい世の中になっていました。最近自治会のお仕事を手伝わせて頂くようになり

ました。環境によって人が変わり街が変わり、人の気持ちも変わるのであれば、まず自分の周りをみつめてこの街が大好きと言える人でありたいと思います。新しい年を迎えてますます素敵な環境になるよう、そして孫達の時代になってもこの幸せが続くよう願ってやみません。

（南雪谷・金子ひろみ）



## 貝塚中学校

昭和36年4月、新築の校舎で私の中学校生活が始まりました。学校の周りとは今は大違い、林や畑があちこちに有るのどかな佇まいで、貨物専用の品鶴線（現在の横須賀線）には蒸気機関車が走ることもあり、環状七号線の工事が始まったのもこの頃でした。



物理、化学、数学が好きで、1年生の時は数学クラブに入って放課後の楽しい時を難問と向き合って過ごしました。2年生の時には、化学の先生の勧めで大田区主催の科学実験教室（正式な名称は忘れました）に、貝塚中学校からは私と仲の良かったT君と2人で参加し、週1回放課後に大森3中で化学実験をさせていただきました。私たちは1年かけて、高度成長期の工事から出る排水の定性分析を行いました。現在も数学が好き、化学が好き、ものを作ることが好き・・・私の中学生時代とあまり変わっていません。今でも大好きなスキーを始めたのも貝塚中学校のスキー教室がきっかけでした。

現在一番好きなことは「御祭り」で、小池若者組合というという祭礼会に所属しています。二番目以降好きな順番は有りませんが、次が「ボーイスカウト」これは話し出すと長いのでちょっとさわりだけ。1907年にイギリスで始まった世界的な運動で目標は「より良き社会人の育成」です。次が「写真」私の写真は人に見せるというより自分で見て楽しむ「自己満足」の写真が多いですけどね。最近ハマっているのが「ロープ作り」大田区内のあちこちでやっているのを見た方もいるかもしれません。

還暦を過ぎた団魂世代の中核である私たちの世代（いまだに人数だけが多い）、私たちが中学生の頃はジジババだと思っていた年齢になってしまいましたが、今自分に何が出来るのか考えたいと思っています。では、貝塚中学校の益々の発展を願いつつこの辺で。

（小池・田島道治）

### 編集後記

あけましておめでとうございます。

2013年、巳年の幕が静かに上がりました。

昨年末には、都知事選、衆議院選のW選挙があったりと政治、経済等にもいろいろな事がありました。今年はどのような年になるのでしょうか。皆様にとっては、心身共に良き年になりますよう、編集委員一同心よりお祈り申し上げます。

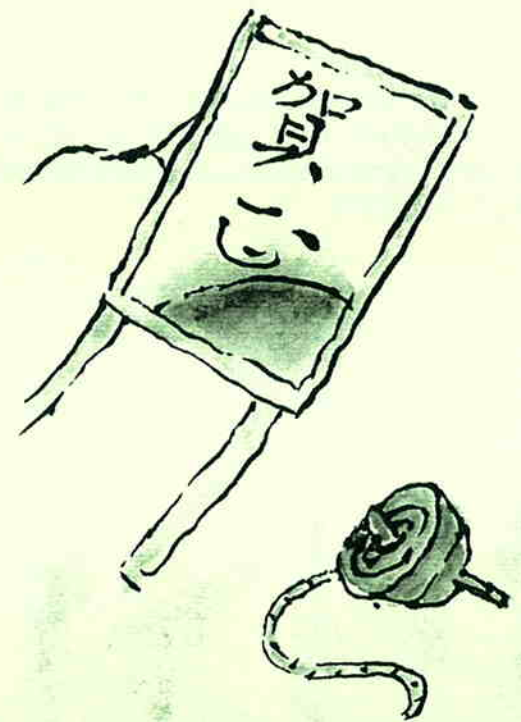
（上池上・田中紀子）

ふれあい雪谷(創刊・平成2年(1990)12月20日) 年4回発行  
(1月・新年号/4月・さくら号/7月・あさがお号/10月・もみじ号/の1日発行)  
[発行日] 平成25年(2013年) 新年号 1月1日(通巻・第89号) 発行  
[発行] 地域力推進雪谷地区委員会 [編集]「ふれあい雪谷」編集委員会  
[連絡先] 雪谷特別出張所  
〒145-0065 大田区東雪谷3-6-2 電話3729-5117 FAX3729-1826

[http://www.city.ota.tokyo.jp/chofu/ts\\_yukigaya/index.html](http://www.city.ota.tokyo.jp/chofu/ts_yukigaya/index.html)

ふれあい  
雪谷

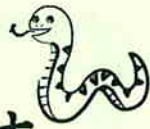
平成25年 1月 新年号 通巻第89号



希望ヶ丘 田中 絹枝さんの作品



# 新春のお慶びを 申し上げます



新年あけましておめでとうございます。

今年も雪谷地区の話題やイベント情報など皆様楽しんでいただける紙面作りを目指してがんばって参ります。

さて新年号では、元気に頑張るご高齢の方々に今年の抱負をお聞きしました。

また、今年100歳を迎える南雪谷在住の大和さんより新年の俳句をいただきました。わが編集委員南さんの力作と合わせてご紹介いたします！



75歳を迎えた私は後期高齢者の仲間になりました。一昨年、胃がんの手術をしましたが幸い手術も成功し、回復も順調です。現在介護の仕事をしており、一人暮らしの高齢者や、認知症の家族を訪問し、食事を作ったり、清掃をしています。また、趣味として仲間と年に一回ハイキングに出かけています。

今年も自分の趣味を活かしながら、介護の仕事をやり遂げて参ります。

(東中・E.M)

私は今年で72歳の年女です。

長年、小学校の教師を勤め、最後は池雪小学校で終わりました。今でも卒業生から年賀状を頂いたり、結婚式に招かれたりしています。池雪小学校で最後の勤務を終えることができた誇りを胸にこれからの人生を全うして参ります。

(上池上・U.I)

## 雪谷地区9自治会の『スポーツまつり』が行われました。

1300名参加！

雪谷地区自治会連合会（笹丸・雪谷石川台・希望ヶ丘・南雪谷・東雪谷東中・東雪・池の台・小池・上池上）／大田区青少年対策雪谷地区委員会主催の「スポーツまつり」が平成24年9月30日（日）午前9時30分より池雪小学校校庭において行われました。

初めに選手団入場／運営委員長による開会の言葉／国旗掲揚／大会長挨拶／祝辞／選手宣誓とセレモニーの後、10時より競技開始。あめ喰い競争／綱取り／大人と子どもの玉入れ等々、全14種目を各自治会の代表選手が力一杯の健闘で楽しい競技が続きました。

午後は天候悪化の予報がありましたが、昼食後フラダンスの披露と、プログラムを予定通り行い、2時30分には全ての競技を終了。

順位は総合優勝・笹丸／第2位・東中／第3位・小池の各自治会となりました。競技に参加していただいた選手の皆さんお疲れ様でした。主催の雪谷地区自治会連合会／大田区青少年対策雪谷地区委員会、ほか関係役員の皆様ありがとうございました。

(東雪・西本頼男)



### 俳句

島かけて鳶の輪いくつ初御空  
とび  
はつみぞら

去年今年去年今年とて老いにけり  
こそことし  
こそことし

初旅といふも鎌倉までのこと

それぞれの庭木も年の改まる

初暦かけて書屋の改まる  
はつこよみ  
しよおく

初暦今年も頼ること多き

書初や決意新たに筆踊る

おめかしの孫の笑顔やお年玉

箱根路を母校のたすき眼にしみる

(東中・南健治郎)

(南雪谷・大和勲)

## 読者からの投稿

すっかりすっかり昔々の話になりました。

私達が東京市大森区小池尋常小学校に入学したのは昭和14年（1939年）のことです。当時、登校して第一にせねばならないことは天皇の写真のある奉安殿へのご挨拶、拝礼です。授業の前に朝礼があり、宮城遥拝から始まります。天長節などの祝日の式典では2教室つなぎの講堂で、校長先生が教育勅語を奉読されました。教科書は国定であり、尋常小学読本巻一は『サイタサイタサクラガサイタ』『コイコイ シロコイ』とカタカナでした。ひらがなは2年生からでした。

昭和16年には学制が変わり、小池小学校は小池国民学校となり、私達も小学生から少国民となりました。教科書もすべて変わり、いわゆる軍国調、戦争謳歌になってきました。少国民の男子は強い兵隊に、女子は銃後の守りをしっかりする婦人になるための教育です。そして12月8日、太平洋戦争が始まり当初の勝ち戦に日本中が歓喜、熱狂しました。毎月8日を開戦の記念日（大詔奉戴日）として、全校生徒は子安八幡神社に参拝、兵隊さんの武運長久、戦勝を祈願しました。

しかし、この勝利は長くは続かず、昭和18年頃からは戦況が不利になり、敵からの空襲に備えて灯火管制、防空演習などなど、少国民も学校名、学年、そして血液型を書いた名札をつけるように義務づけられました。戦時下の物資不足、『欲しがりません勝つまでは』の標語は脳中に残っており、今でも『勿体ない』が口癖となっている世代です。

昭和19年には敵の空襲に備え、都会から地方への分散、疎開が検討されました。地方に親戚、知己のある子供は縁故疎開を、ない子供達は学校の主導による集団疎開が推奨されました。小池国民学校では、3～6年生は静岡県の3ヶ所へ集団疎開をしました。私自身は親元に残留しましたが、友達から疎開先の苦労話をいろいろ聞きました。残留組は防空頭巾を持って登下校し、警戒警報のサイレンが鳴ると授業中止、ただちに帰宅です。給食の黒いコッペパンを貰って防空壕にもぐります。空襲の初期は工場地帯が襲われましたが、昭和20年3月10日夜の東京大空襲は恐ろしいことでした。上池上から見ると東の空が真っ赤となり防空壕の中で震えていました。東京の中心部が壊滅した日です。

この年、私達は中学校の受験があり、同級生は集団疎開から帰ってきましたが、この空襲のため東京では入学試験が中止となり内申書のみでの選抜となりました。

卒業式は当然、簡素に行われ卒業証書は半紙半裁のガリ版摺り、卒業アルバムも謝恩会もなく、私達同世代は全員『小学校』の卒業ができず巣立ちました。

そして今度は5月24日未明の大空襲、B29の編隊による焼夷弾の嵐、とうとう私達の母校は火災につつまれ、バリバリと音をたて数時間で燃え尽きてしまいました。わたしは小池の坂上でこれを見ていましたが、悲しく悔しかった思いは今も残っています。この時、自宅が戦災を受けた友達も多数います。

その後、母校は再建、素晴らしい校舎に感心、驚嘆していますが、私達の記憶に残っている物は残念ながら『皇紀二千六百年記念』（昭和15年設置）の国旗掲揚塔の石柱のみと思います。

(南雪谷・澤田忠雄)

